

就業体験学習

薬：L1-06403MY

総合科目 4～5年／前・後期 1.5単位 自由選択科目

科目責任者 進路就職支援委員長

■ 教育目的

将来の職業への適性を考える機会を持ち、自信をもってライフプランを設計できるようになるために、薬学部出身者が活躍している様々な業界で研修を行う。企業や公的機関の社会的役割や責任、そこで働くことの魅力などを理解するとともに、それぞれの業務と大学での学習内容との関連について考える。また、研修先での体験を通して、社会人として不可欠な一般常識や態度を身につける。(注)研修先は、企業の募集人数、募集方法、希望者の増減により、履修希望に添えない場合があります。

■ 学習到達目標

事前研修を受けた後、就業体験学習を通じて研修先の組織、活動内容を理解する。(知識、技能、態度)

具体的には各業界ごとに、以下の目標を設定している。

1. 医薬情報担当者(MR)

(1) 医療現場でのMR業務を認識し、その役割を説明できる。(2) 医薬品の流通経路とMRの役割を説明できる。

2. 臨床開発

(1) 医薬品の探索から治験を経て申請・認可までの新薬の開発過程を理解し、一連の流れを説明できる。

3. 生産技術

(1) 医薬品製造の一連の流れを見聞し、医薬品製造の流れを説明できる。(2) GMPを理解し、内容、重要性を説明できる。

4. 学術

(1) 質問事項を解決すべく手法を見聞し、文献検索の例を示して説明できる。

5. 医薬品営業(MS)

(1) 医薬品の流通経路とMSの役割を説明できる。(2) 医薬品の市販後調査の手法とその流れを説明できる。

6. 公務員

(1) 行政機関の社会的役割を理解し、内容、重要性を説明できる。

■ 準備学習(予習・復習)

予習：研修先の組織、活動内容の概要をホームページ等で調べておく。また研修先で何を身につけるべきか(何を身につけたいか)を具体的に考えておく。

復習：研修内容を具体的に記録し、将来の就職先を決定するうえでの資料として保存する。

■ 授業形態

課題解決型学習(外部機関との連携あり)、グループワーク、プレゼンテーション、実習・フィールドワーク、講義

■ 授業内容

No.	項目	授業内容	備考・SBOコード
1	ガイダンス	就業体験学習の目的について	
2～3	業界展望	業界(製薬企業、CRO、医薬品卸業、公務員等)の動向と職種	B(2)-②-2～3
4	事前研修	研修を受けるための心構えや身だしなみ、ビジネスマナー、コミュニケーション、守秘事項等について	B(2)-①-5
5～14	就業体験学習	・各業界の現状と業務、研修先の概要、コンプライアンスについて ・同行研修(病院、医院、医薬品卸等) ・医薬品の製造と物流(研究所、工場等) ・研修の総括(グループディスカッション、プレゼンテーション)	A(3)-①-1～9 A(4)-①-4～5
15	まとめ	研修内容、得た知識、感想等について発表	A(5)-①-1

■ 授業分担者

進路就職支援委員及び学外講師

■ 課題(レポート、試験等)のフィードバック及び成績評価方法

授業1～4における授業後レポートの評価(10%)、就業体験学習学生評価表(30%)、報告会の発表内容(60%)を総合して成績評価を行う。

■ 参考書

インターンシップ関連図書